

第 55 回 高知県献血推進協議会

資 料

日時 平成 31 年 3 月 12 日 (火)

18 : 30 ~ 20 : 00

場所 高知県庁 2 階 第二応接室

高知県健康政策部医事薬務課

高知県の血液事業の概要について

高知県の献血者数は平成 22 年度をピークに減少傾向が続いている。本年度 12 月末現在の献血者数は前年同期の 98.6% である。一方で、献血量は 100.5% となっている。

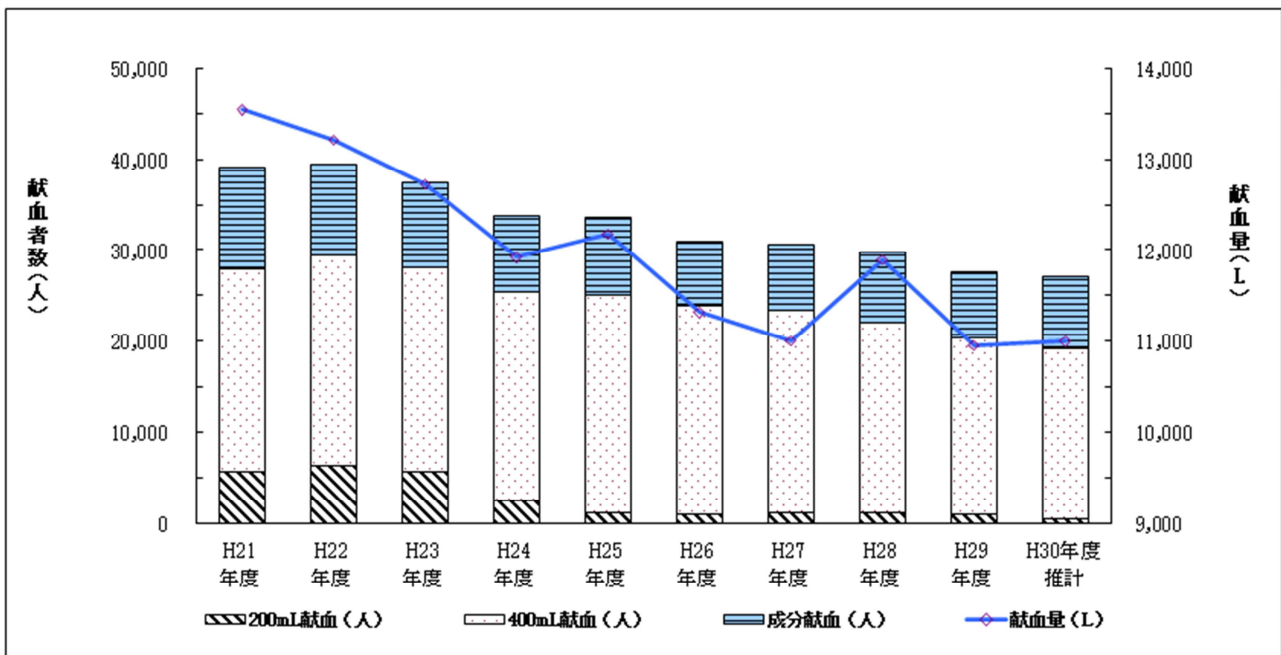
全国に先がけ少子高齢化が進行している本県においては、今後、献血をお願いできる人口がますます減少していくことが想定される中、これからの献血を担っていただく若い世代の方々を中心に、広く県民の皆様に献血への一層のご理解とご協力をいただく必要性が増している。

① 献血の状況

ア 年度別献血状況

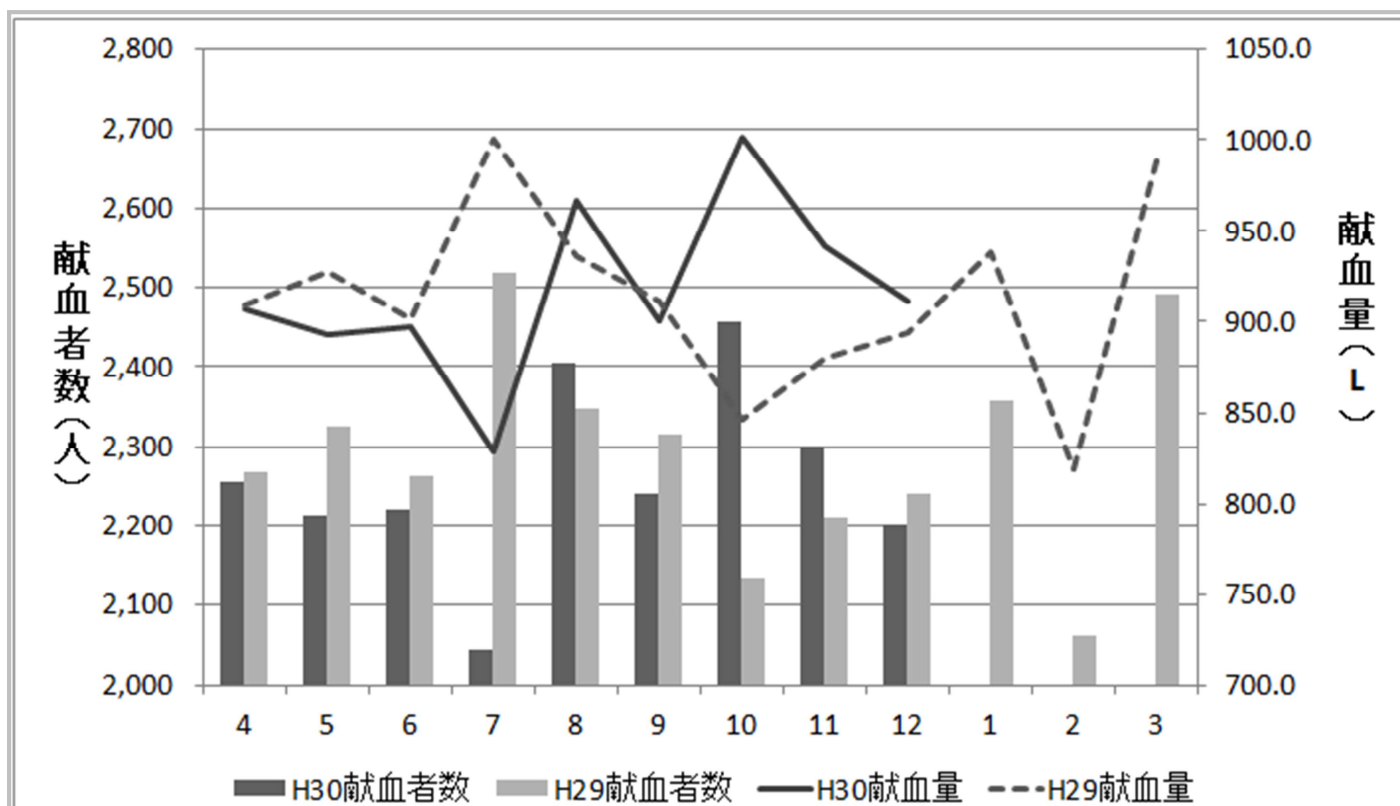
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度 4月～12月	H30年度 推計	H30年度 目標
200mL献血（人）	5,575	6,357	5,592	2,428	1,082	1,026	1,069	1,146	991	340	454	568
400mL献血（人）	22,389	23,105	22,491	23,046	23,952	22,869	22,308	20,904	19,394	14,097	18,795	19,527
成分献血（人）	11,174	9,932	9,434	8,371	8,558	7,088	7,278	7,657	7,137	5,893	7,858	7,463
計（人）	39,138	39,394	37,517	33,845	33,592	30,983	30,655	29,707	27,522	20,330	27,107	27,558
献血量（L）	13,541	13,212	12,730	11,920	12,173	11,318	11,003	11,891	10,954	8,248	10,997	11,424

（H30 年度推計は 4 月～12 月分の実績から単純計算した推計値）



イ 月別献血者数

月	平成30年度				平成29年度 献血者数 (人)	対前年度比		H30年度 献血量(L)	H29年度献 血量(L)	対前年度比	
	200ml 献血(人)	400ml 献血(人)	成分献血 (人)	献血者数 (人)		人数	割合			献血量 (L)	割合
4	42	1,598	614	2,254	2,267	△ 13	99.4%	907.4	909.3	△ 1.9	99.8%
5	39	1,540	633	2,212	2,325	△ 113	95.1%	893.1	927.9	△ 34.8	96.2%
6	44	1,479	697	2,220	2,261	△ 41	98.2%	897.3	901.6	△ 4.3	99.5%
7	39	1,384	621	2,044	2,517	△ 473	81.2%	828.4	1000.7	△ 172.3	82.8%
8	43	1,674	687	2,404	2,346	58	102.5%	967.2	936.6	30.6	103.3%
9	36	1,535	668	2,239	2,315	△ 76	96.7%	900.6	911.4	△ 10.8	98.8%
10	37	1,731	689	2,457	2,133	324	115.2%	1001.6	846.0	155.6	118.4%
11	32	1,614	654	2,300	2,210	90	104.1%	941.3	879.8	61.5	107.0%
12	28	1,542	630	2,200	2,241	△ 41	98.2%	911.0	894.5	16.5	101.8%
1					2,356				938.4		
2					2,060				819.5		
3					2,491				988.3		
合計	340	14,097	5,893	20,330	27,522	△ 285	98.6%	8,247.9	10,954	40.1	100.5%



ウ 年齢別献血状況

【年齢別献血割合】

平成30年度（平成30年4月～平成30年12月）

（人）

	16～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～69歳		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
200mL献血	25	152	1	41	1	31	4	28	6	51	37	303	340
400mL献血	588	238	1,745	608	1,748	611	2,807	984	3,376	1,392	10,264	3,833	14,097
血しょう成分献血	13	21	140	238	243	180	385	248	490	244	1,271	931	2,202
血小板成分献血	18	12	183	166	509	200	913	293	1,256	141	2,879	812	3,691
合計	644	423	2,069	1,053	2,501	1,022	4,109	1,553	5,128	1,828	14,451	5,879	20,330

平成29年度（平成29年4月～平成29年12月）

（人）

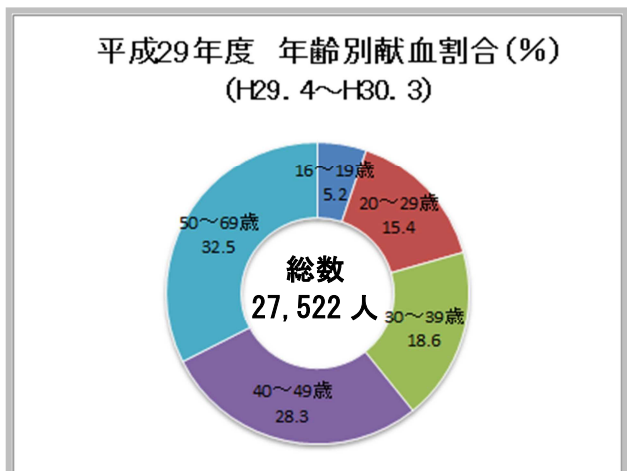
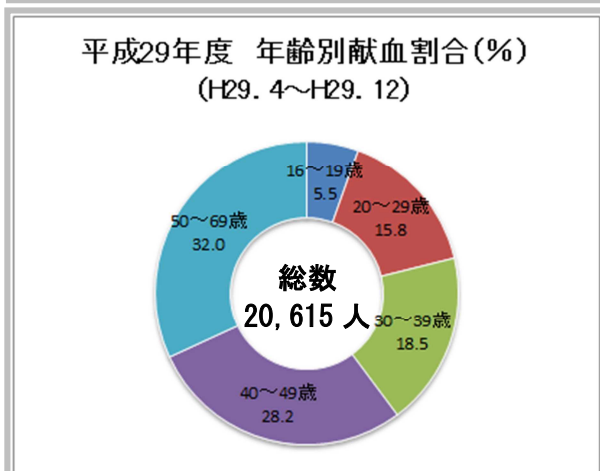
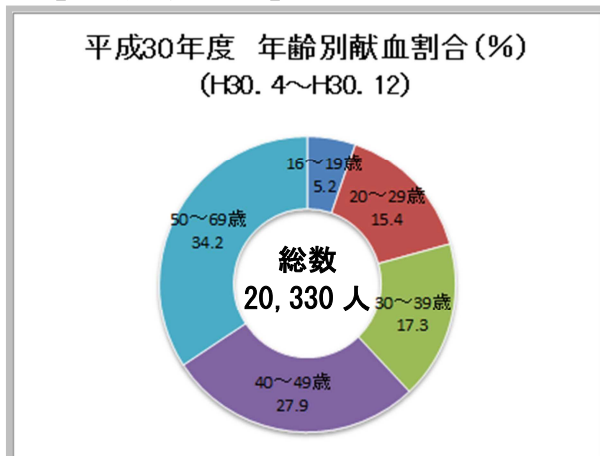
	16～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～69歳		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
200mL献血	28	208	1	165	2	109	17	105	21	179	69	766	835
400mL献血	597	249	1,747	676	1,975	670	2,928	998	3,326	1,330	10,573	3,923	14,496
血しょう成分献血	5	11	82	137	144	123	206	144	297	164	734	579	1,313
血小板成分献血	19	18	236	210	523	278	1,040	374	1,134	139	2,952	1,019	3,971
合計	649	486	2,066	1,188	2,644	1,180	4,191	1,621	4,778	1,812	14,328	6,287	20,615

平成29年度（平成29年4月～平成30年3月）

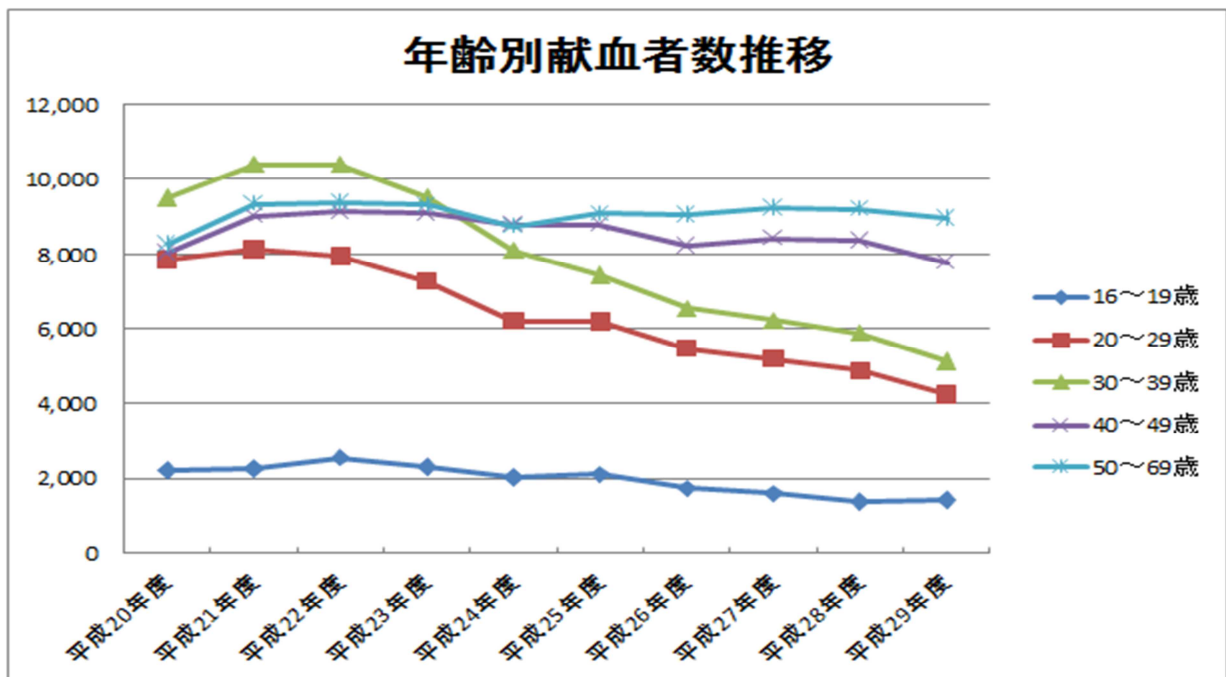
（人）

	16～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～69歳		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
200mL献血	39	267	3	195	2	126	18	117	26	198	88	903	991
400mL献血	740	303	2,275	861	2,669	894	3,929	1,331	4,568	1,824	14,181	5,213	19,394
血しょう成分献血	9	15	114	196	196	169	288	194	409	223	1,016	797	1,813
血小板成分献血	29	24	319	282	727	342	1,405	490	1,519	187	3,999	1,325	5,324
合計	817	609	2,711	1,534	3,594	1,531	5,640	2,132	6,522	2,432	19,284	8,238	27,522

【年齢別献血割合】



【年齢別献血者数推移 (平成20年度~平成29年度)】

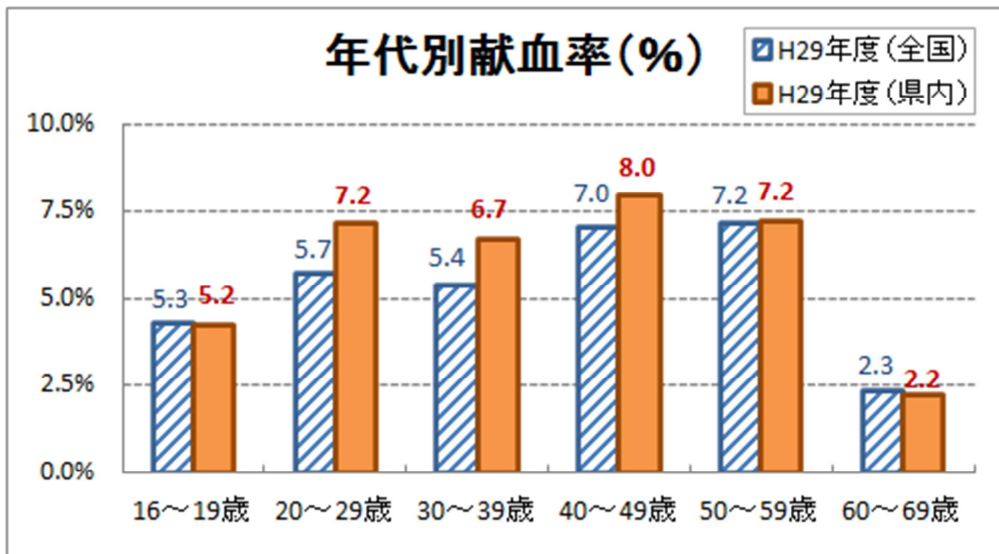


【年齢別献血率 (献血者数/献血対象年齢人口)】

	H29年度	
	県内(%)	全国(%)
16～19歳	5.2	5.3
20～29歳	7.2	5.7
30～39歳	6.7	5.4
40～49歳	8.0	7.0
50～59歳	7.2	7.2
60～69歳	2.2	2.3

※ 献血率の算定に使用した人口は、『平成29年住民基本台帳人口要覧(財)国土地理協会・出版』に基づく平成29年1月1日現在の人口。

ただし、16～19歳の人口は、『平成29年住民基本台帳人口要覧(財)国土地理協会・出版』に基づく平成29年1月1日現在の15～19歳の人口から、『平成27年国勢調査人口等基本集計(総務省統計局)』に基づく平成29年の15歳人口を差引いた人口。



工 献血種別、場所別献血状況

平成30年度（平成30年4月～平成30年12月）

	献血ルーム				献血バス				合計			
	男(人)	女(人)	計(人)	構成比(%)	男(人)	女(人)	計(人)	構成比(%)	男(人)	女(人)	計(人)	構成比(%)
200mL	37	303	340	3.7	0	0	0	0.0	37	303	340	1.7
400mL	1,993	890	2,883	31.6	8,271	2,943	11,214	100.0	10,264	3,833	14,097	69.3
血しょう	1,271	931	2,202	24.2	0	0	0	0.0	1,271	931	2,202	10.8
血小板	2,879	812	3,691	40.5	0	0	0	0.0	2,879	812	3,691	18.2
計	6,180	2,936	9,116	100.0	8,271	2,943	11,214	100.0	14,451	5,879	20,330	100.0
男女別	67.8%	32.2%	100.0%		73.8%	26.2%	100.0%		71.1%	28.9%	100.0%	
構成比	30.4%	14.4%	44.8%		40.7%	14.5%	55.2%		71.1%	28.9%	100.0%	
延日数	263日平均 34.7人				255日平均 44.0人				518日平均 39.2人			

平成29年度（平成29年4月～平成29年12月）

	献血ルーム				献血バス				合計			
	男(人)	女(人)	計(人)	構成比(%)	男(人)	女(人)	計(人)	構成比(%)	男(人)	女(人)	計(人)	構成比(%)
200mL	69	766	835	9.0	0	0	0	0.0	69	766	835	4.1
400mL	2,123	989	3,112	33.7	8,450	2,934	11,384	100.0	10,573	3,923	14,496	70.3
血しょう	734	579	1,313	14.2	0	0	0	0.0	734	579	1,313	6.4
血小板	2,952	1,019	3,971	43.0	0	0	0	0.0	2,952	1,019	3,971	19.3
計	5,878	3,353	9,231	100.0	8,450	2,934	11,384	100.0	14,328	6,287	20,615	100.0
男女別	63.7%	36.3%	100.0%		74.2%	25.8%	100.0%		69.5%	30.5%	100.0%	
構成比	28.5%	16.3%	44.8%		41.0%	14.2%	55.2%		69.5%	30.5%	100.0%	
延日数	268日平均 34.4人				259日平均 44.0人				527日平均 39.1人			

平成29年度（平成29年4月～平成30年3月）

	献血ルーム				献血バス				合計			
	男(人)	女(人)	計(人)	構成比(%)	男(人)	女(人)	計(人)	構成比(%)	男(人)	女(人)	計(人)	構成比(%)
200mL	88	903	991	8.1	0	0	0	0.0	88	903	991	3.6
400mL	2,809	1,325	4,134	33.7	11,372	3,888	15,260	100.0	14,181	5,213	19,394	70.5
血しょう	1,016	797	1,813	14.8	0	0	0	0.0	1,016	797	1,813	6.6
血小板	3,999	1,325	5,324	43.4	0	0	0	0.0	3,999	1,325	5,324	19.3
計	7,912	4,350	12,262	100.0	11,372	3,888	15,260	100.0	19,284	8,238	27,522	100.0
男女別	64.5%	35.5%	100.0%		74.5%	25.5%	100.0%		70.1%	29.9%	100.0%	
構成比	28.8%	15.8%	44.6%		41.3%	14.1%	55.4%		70.1%	29.9%	100.1%	
延日数	357日平均 34.3人				349日平均 43.7人				706日平均 39.0人			

オ 献血不適格者の状況

平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 30 年 12 月）

区分	受付者数	献血ができなかった人数						献血者数		
		比重不足		その他		計		構成比(%)		
		構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)					
男	200mL献血	38	0	0.0	1	2.6	1	2.6	37	97.4
	400mL献血	10,907	213	2.0	430	3.9	643	5.9	10,264	94.1
	血しょう成分献血	1,331	15	1.1	45	3.4	60	4.5	1,271	95.5
	血小板成分献血	3,013	36	1.2	98	3.3	134	4.4	2,879	95.6
	計	15,289	264	1.7	574	3.8	838	5.5	14,451	94.5
女	200mL献血	380	35	9.2	42	11.1	77	20.3	303	79.7
	400mL献血	5,221	1,120	21.5	268	5.1	1,388	26.6	3,833	73.4
	血しょう成分献血	1,038	66	6.4	41	3.9	107	10.3	931	89.7
	血小板成分献血	909	47	5.2	50	5.5	97	10.7	812	89.3
	計	7,548	1,268	16.8	401	5.3	1,669	22.1	5,879	77.9
合計	200mL献血	418	35	8.4	43	10.3	78	18.7	340	81.3
	400mL献血	16,128	1,333	8.3	698	4.3	2,031	12.6	14,097	87.4
	血しょう成分献血	2,369	81	3.4	86	3.6	167	7.0	2,202	93.0
	血小板成分献血	3,922	83	2.1	148	3.8	231	5.9	3,691	94.1
	計	22,837	1,532	6.7	975	4.3	2,507	11.0	20,330	89.0

平成 29 年度（平成 29 年 4 月～平成 29 年 12 月）

区分	受付者数	献血ができなかった人数						献血者数		
		比重不足		その他		計		構成比(%)		
		構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)					
男	200mL献血	77	3	3.9	5	6.5	8	10.4	69	89.6
	400mL献血	11,262	229	2.0	460	4.1	689	6.1	10,573	93.9
	血しょう成分献血	830	19	2.3	77	9.3	96	11.6	734	88.4
	血小板成分献血	3,067	31	1.0	84	2.7	115	3.7	2,952	96.3
	計	15,236	282	1.9	626	4.1	908	6.0	14,328	94.0
女	200mL献血	922	86	9.3	70	7.6	156	16.9	766	83.1
	400mL献血	5,514	1,273	23.1	318	5.8	1,591	28.9	3,923	71.1
	血しょう成分献血	656	37	5.6	40	6.1	77	11.7	579	88.3
	血小板成分献血	1,156	83	7.2	54	4.7	137	11.9	1,019	88.1
	計	8,248	1,479	17.9	482	5.8	1,961	23.8	6,287	76.2
合計	200mL献血	999	89	8.9	75	7.5	164	16.4	835	83.6
	400mL献血	16,776	1,502	9.0	778	4.6	2,280	13.6	14,496	86.4
	血しょう成分献血	1,486	56	3.8	117	7.9	173	11.6	1,313	88.4
	血小板成分献血	4,223	114	2.7	138	3.3	252	6.0	3,971	94.0
	計	23,484	1,761	7.5	1,108	4.7	2,869	12.2	20,615	87.8

平成 29 年度（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）

区分	受付者数	献血ができなかった人数						献血者数		
		比重不足		その他		計		構成比(%)		
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)				
男	200mL献血	96	3	3.1%	5	5.2%	8	8.3%	88	91.7%
	400mL献血	15,064	290	1.9%	593	3.9%	883	5.9%	14,181	94.1%
	血しょう成分献血	1,136	25	2.2%	95	8.4%	120	10.6%	1,016	89.4%
	血小板成分献血	4,160	39	0.9%	122	2.9%	161	3.9%	3,999	96.1%
	計	20,456	357	1.7%	815	4.0%	1,172	5.7%	19,284	94.3%
女	200mL献血	1,093	105	9.6%	85	7.8%	190	17.4%	903	82.6%
	400mL献血	7,207	1,594	22.1%	400	5.6%	1,994	27.7%	5,213	72.3%
	血しょう成分献血	902	53	5.9%	52	5.8%	105	11.6%	797	88.4%
	血小板成分献血	1,507	106	7.0%	76	5.0%	182	12.1%	1,325	87.9%
	計	10,709	1,858	17.3%	613	5.7%	2,471	23.1%	8,238	76.9%
合計	200mL献血	1,189	108	9.1%	90	7.6%	198	16.7%	991	83.3%
	400mL献血	22,271	1,884	8.5%	993	4.5%	2,877	12.9%	19,394	87.1%
	血しょう成分献血	2,038	78	3.8%	147	7.2%	225	11.0%	1,813	89.0%
	血小板成分献血	5,667	145	2.6%	198	3.5%	343	6.1%	5,324	93.9%
	計	31,165	2,215	7.1%	1,428	4.6%	3,643	11.7%	27,522	88.3%

② 献血推進への取組み（平成 30 年度）

平成 30 年度血液事業の概要

ア 広報活動

献血の重要性、必要性について広く県民の皆様にご理解とご協力をいただくために、市町村や高知県赤十字血液センター（以下、血液センター）など関係団体との連携により、各種キャンペーンの開催や広報誌、ポスター、チラシの配布、また、各報道機関の活用等により、献血に関する知識の普及と啓発に努めている。

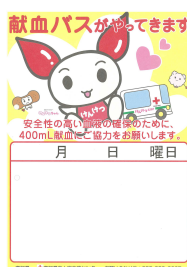
<作成資材・配布ポスター紹介>



- ①献血呼びかけポケットティッシュ
街頭での啓発活動時や献血協力者に対して配布。



- ②400mL 献血への協力呼びかけポスター（A3）
けんけつちゃんの土佐犬バージョンを掲載したポスターを作成し、血液センターを通して献血受入れ施設へ配布。



- ③「献血バスがやってきます」お知らせ用チラシ（A4）
けんけつちゃんとその仲間たちのイラスト等が印刷されており、献血場所や時間等が記入できるもの。血液センターを通して献血バス受入れ施設へ配布。



- ④血液事業の現状 平成 30 年度
平成 29 年度実績や血液事業の沿革などを記載。

イ 「愛の血液助け合い運動」月間（7月1日から7月31日）

(1) 関係資料



- ① 「愛の血液助け合い運動」キャンペーンポスター
厚生労働省作成ポスター

【配布先】各市町村、各福祉保健所、各県税事務所、各土木事務所、各警察署、各私立高校、高知市教育委員会、県教育委員会（公立高校への掲示依頼）など



- ② 「愛の血液助け合い運動」キャンペーンうちわ
イベントや献血バスにて配布。

(2) 第54回献血運動推進全国大会

日程・場所：平成30年7月12日（木） 岡山県（岡山県総合グラウンド体育館）
（平成30年7月豪雨の影響により中止となった。）

内容：献血推進運動に積極的に協力し、功労のあった団体等に厚生労働大臣から表彰状及び感謝状が贈られた。

なお、高知県では以下の団体及び個人が表彰状、感謝状を受賞。

厚生労働大臣表彰状： 協同組合テクノ高知

厚生労働大臣感謝状： 旭食品株式会社

学校法人龍馬学園 龍馬看護ふくし専門学校

高知ソフトボールリーグ

(3) 愛の血液助け合い運動月間献血キャンペーン

「サマキャン2018」

日程・場所：平成30年7月15日（日） イオンモール高知

内容：高知県学生献血クロス倶楽部（県内の大学生、専門学校生等が所属）のメンバーが、献血協力の呼びかけを行うとともに、キャンペーンうちわや献血呼びかけポケットティッシュを配布した。

(4) 平成30年度献血功労者表彰式

日程・場所：平成30年9月12日（水） 高知県庁2階 第二応接室

内容：第54回献血運動推進全国大会における厚生労働大臣表彰状及び感謝状の贈呈団体に対する伝達贈呈、並びに献血の推進に積極的に協力し、他の模範となる実績を示した以下の団体の表彰を行った。

高知県知事感謝状： 社会福祉法人 土佐希望の家

柳生基礎センター株式会社

ウ はたちの献血キャンペーン（1月1日～2月28日）

(1) 関係資料



- ① 「はたちの献血」キャンペーンポスター
厚生労働省作成ポスター

【配布先】各市町村、各福祉保健所、各県税事務所、各土木事務所、各警察署、各私立高校、高知市教育委員会、県教育委員会（公立高校への掲示依頼）、県内各大学・専門学校など

(2) はたちの献血イベント

「はたちの献血イベント」

日程・場所：平成31年1月14日（月・祝） イオンモール高知

内容：高知県学生献血クロス倶楽部・学生ボランティア（応募者43名）による啓発活動
（事前研修会：平成30年12月15日（土）、21日（金）実施）

二十歳の若者による血液センター一日所長

土佐おもてなし海援隊や高校生による手品などのステージ・ショー

骨髄バンクドナー登録などのブース など

エ その他キャンペーン

高知県学生献血クロス倶楽部主催キャンペーン

- ・春の献血キャンペーン 平成30年4月15日（日）
- ・サマーキャンペーン 平成30年7月15日（日）、8月26日（日）、9月30日（日）
- ・クリスマスキャンペーン 平成30年12月16日（日）、23日（日）
- ・バレンタインキャンペーン 平成31年2月10日（日）

③ 血液製剤の適正使用について

高知県合同輸血療法委員会の開催

県内医療機関の血液製剤の使用状況を分析・評価し、情報を共有することにより、血液製剤の適正使用の推進を図るために「高知県合同輸血療法委員会」を開催。

日程・場所：平成30年8月18日（土） 血液センター 4階会議室

血液事業の現状について

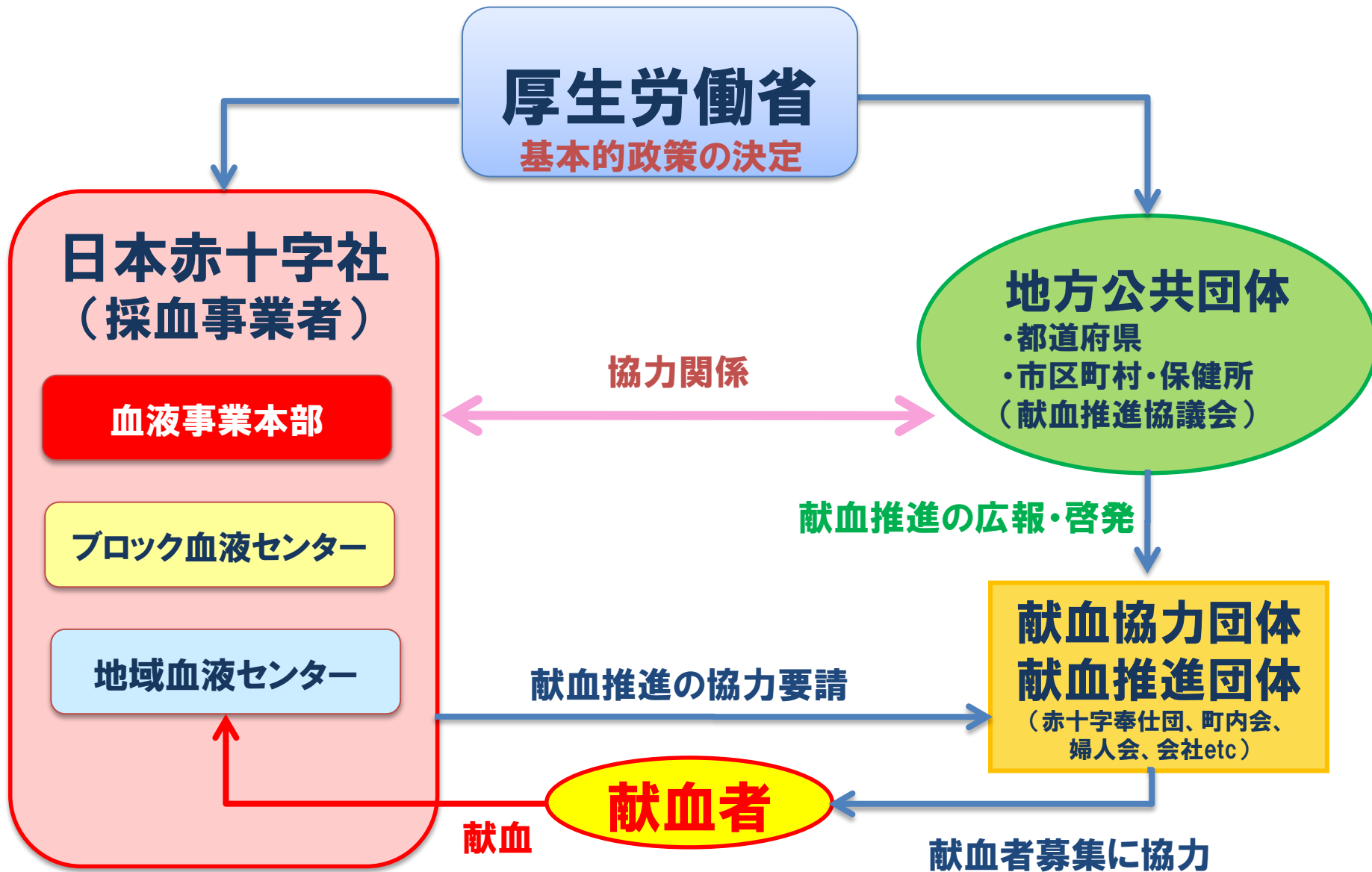
平成31年 3月12日

高知県赤十字血液センター

本日の内容

- **血液事業の実施体制**
- **平成30年度 事業概要**
- **平成31年度 事業計画**
- **血液センター新社屋について**

日本の血液事業の実施体制



日本赤十字社の事業運営の実施体制

本社(血液事業本部)
〔全事業運営の統括管理を担う〕

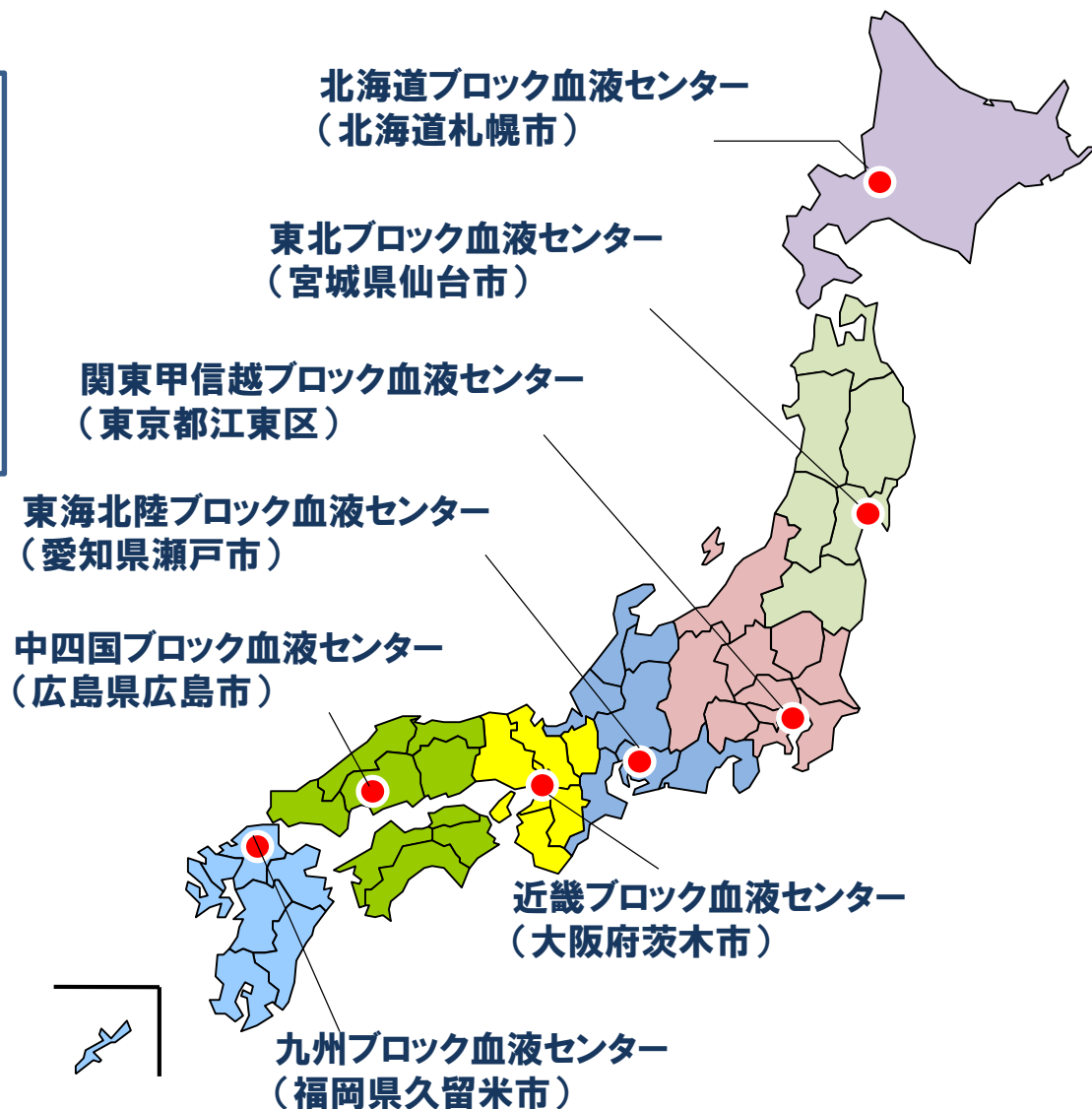
ブロック血液センター
〔検査・製造業務および需給管理等の総合的な調整を担う〕

地域血液センター
〔献血推進・採血・供給に特化した業務を担う〕

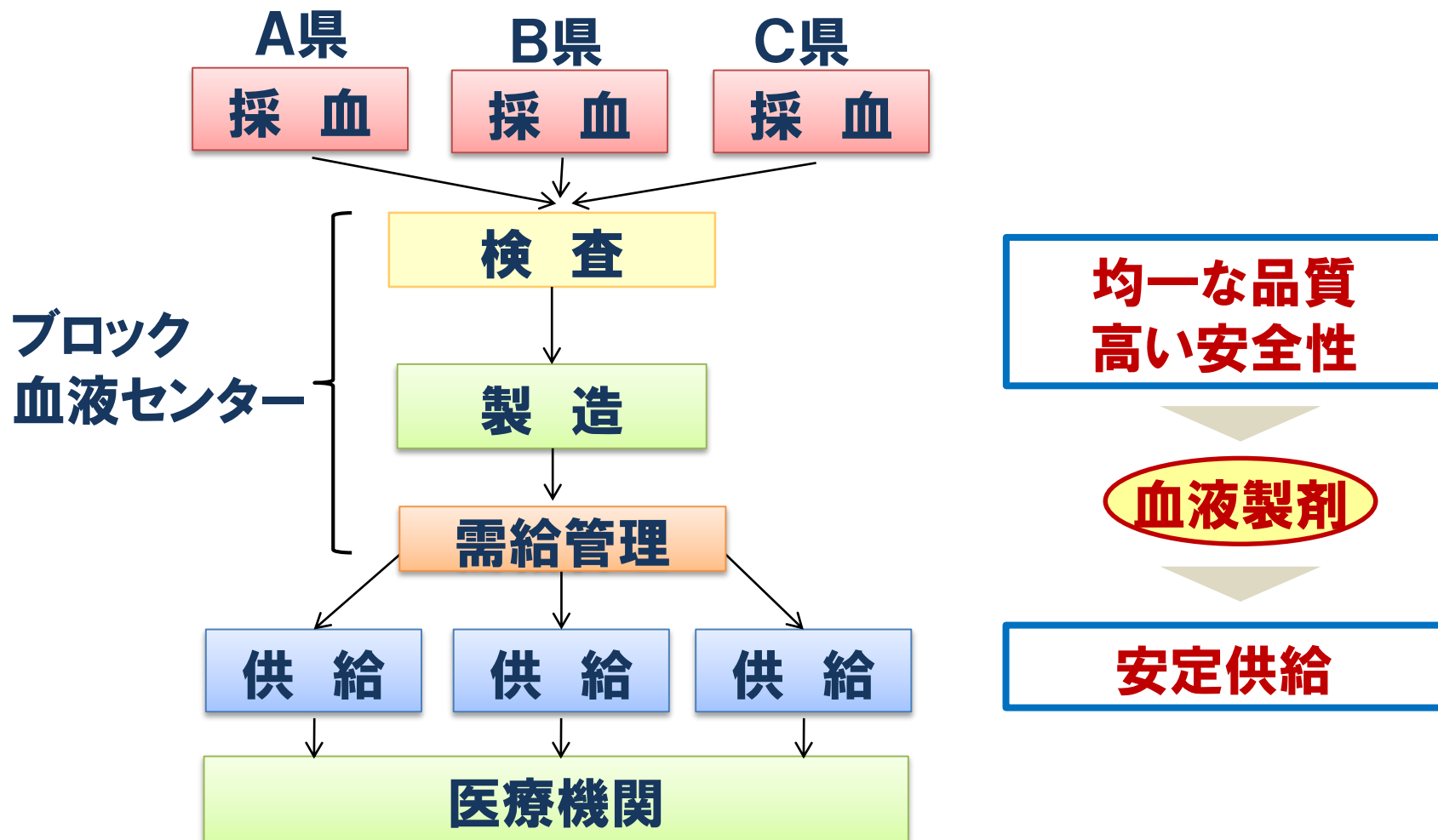
広域需給管理体制

広域需給管理体制とは

全国を7つのブロックに分け
そのブロック単位で献血者
の確保、血液製剤の在庫調
整などを行う



血液センターの業務体制



採血・供給は地域血液センター

地域センターの業務

あつめる

- ・ 献血推進部門
- ・ 採血部門

しらべる
つくる

- ・ 検査部門
- ・ 製造部門

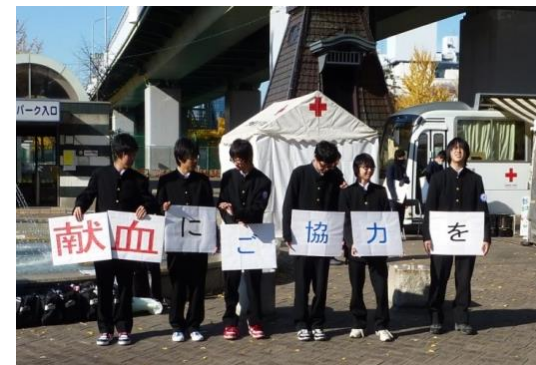
とどける

- ・ 供給部門

献血推進・採血部門

(地域血液センター)

- 需要に見合った献血者の安定的確保
- 献血者の受入
- 献血者情報の管理
- 献血推進キャンペーン等



供給部門

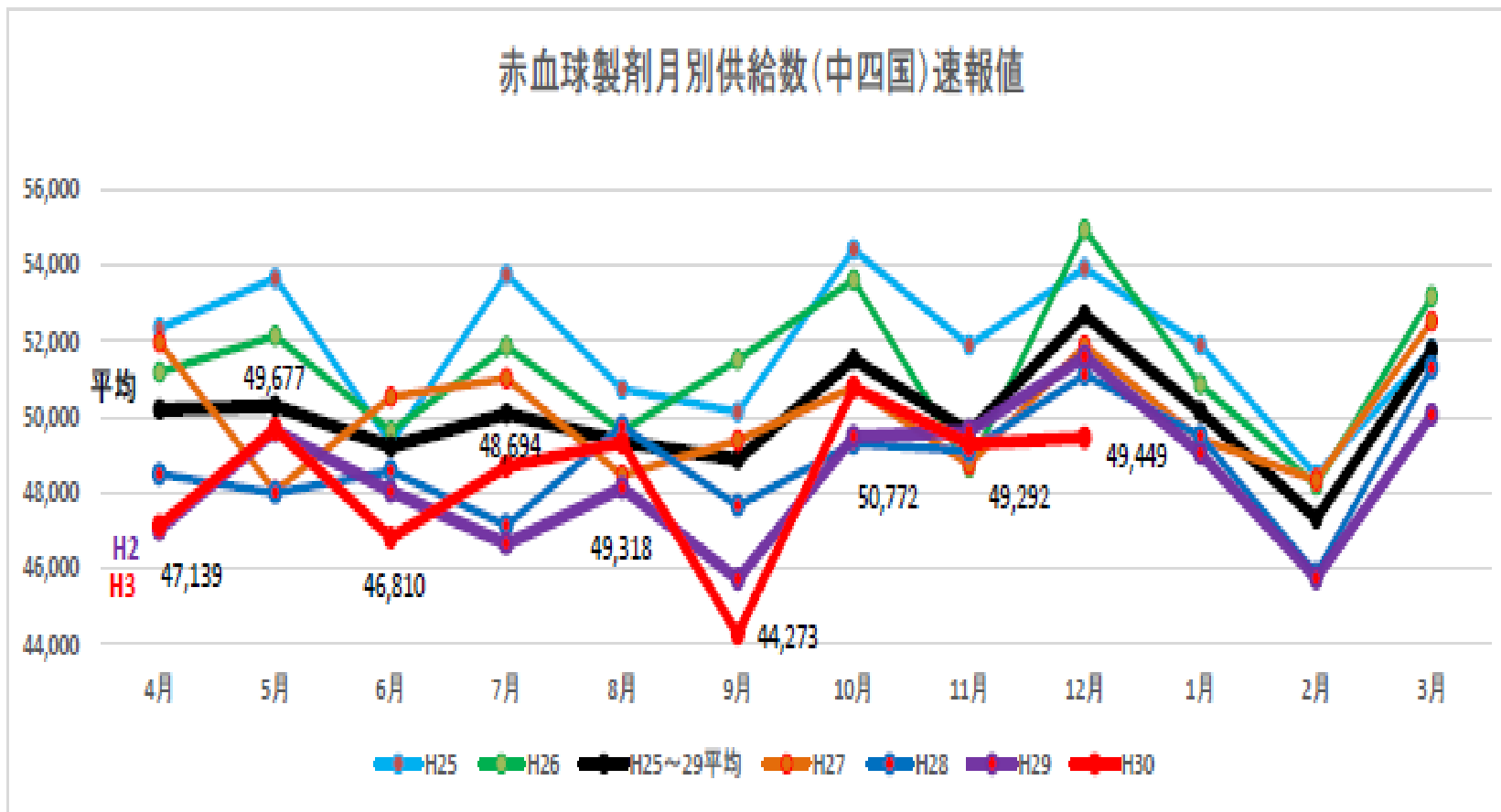
(地域血液センター)

- 受注業務
- 保管業務
- 出庫業務
- 配送業務



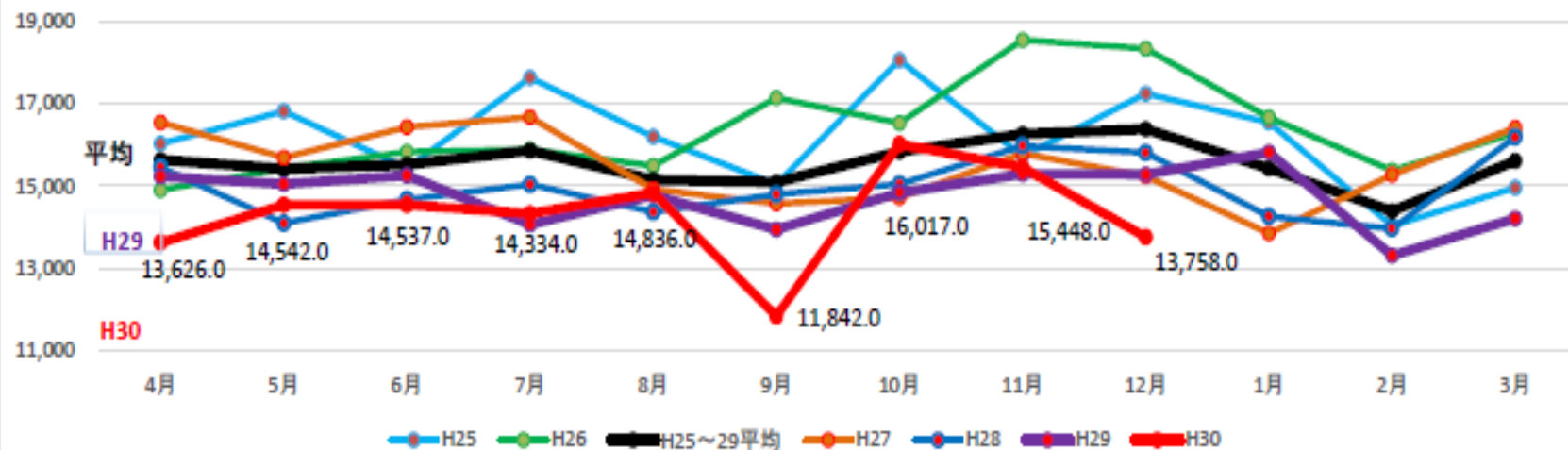
ブロック管内の赤血球製剤供給推移 (H25～H30.12)

※本社「全国血液センター供給本数速報」から引用

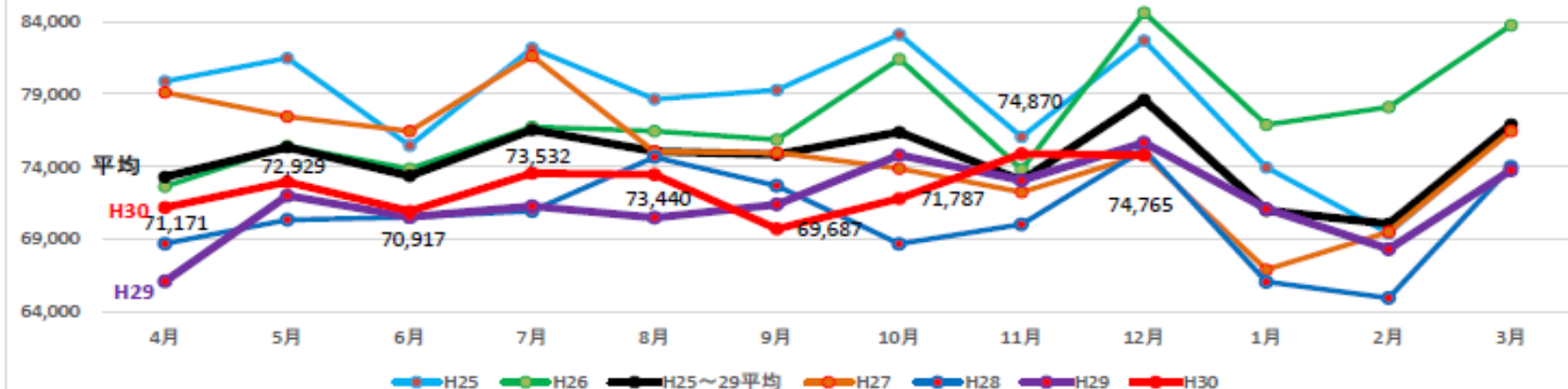


ブロック管内の血漿・血小板製剤供給推移 (H25～H30.12)

血漿製剤月別供給数(中四国)速報値



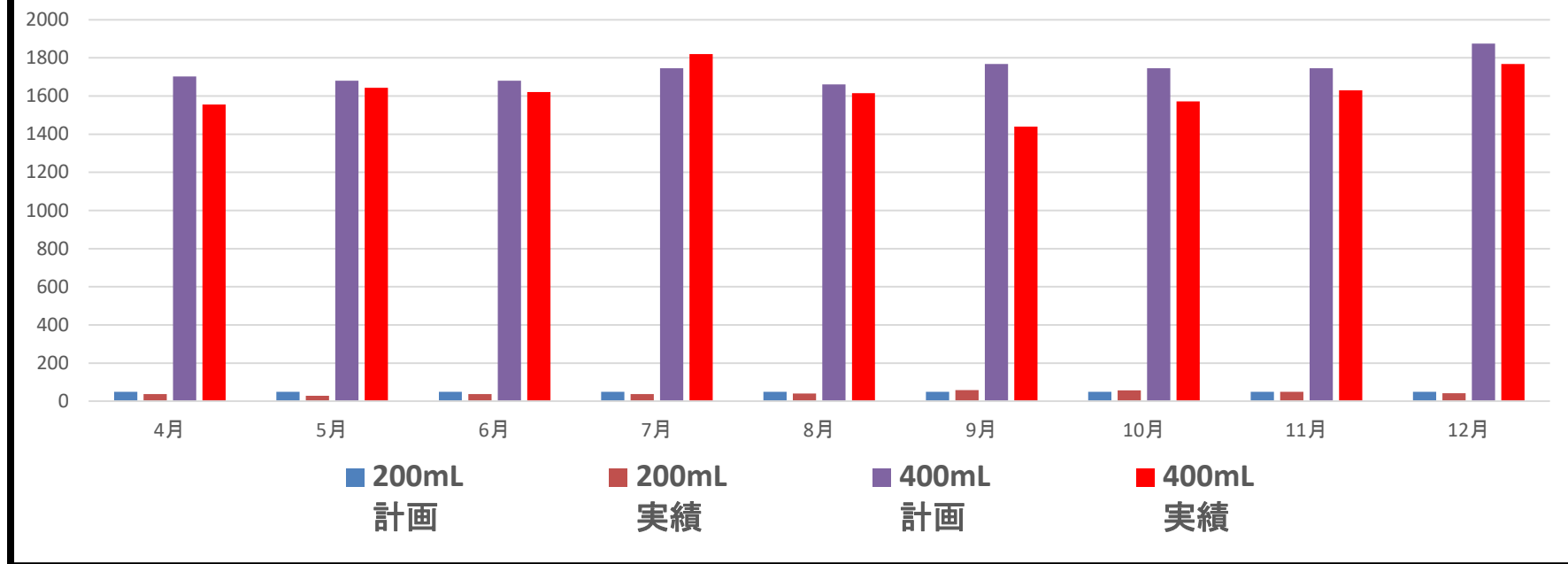
血小板製剤月別供給数(中四国)速報値



高知センターの事業概要

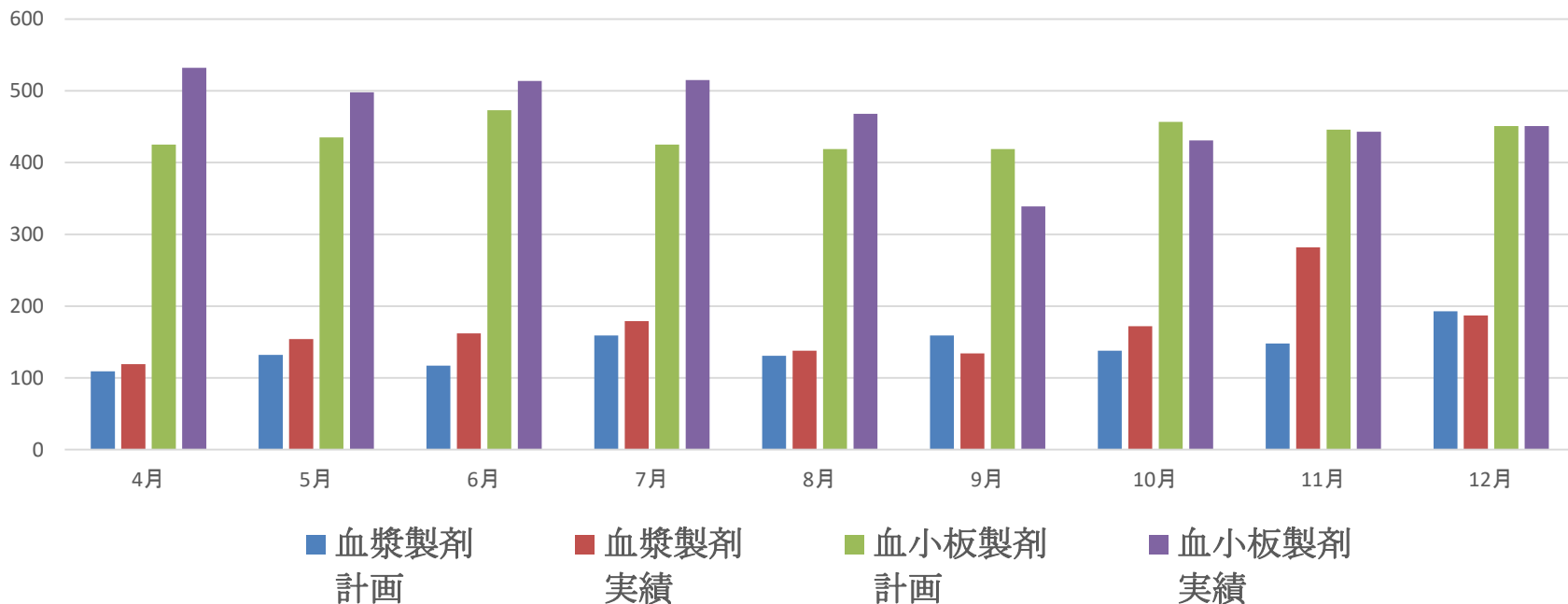
平成30年度 事業概要（高知：4月～12月）

赤血球製剤供給実績（対計画比）



- ・200mL製剤の供給は、計画より少なく推移している
- ・400mL製剤は、毎月1700本程度が供給されており、月々の変動も見られる

成分献血由来製剤供給実績(対計画比)



・血漿製剤は、計画数を上回った供給状況

・血小板製剤は、月々の変動はあるが、前半は、計画数を上回った供給状況

高知県内で必要な輸血用血液製剤は、
県内の献血で賄う**自県自給が原則**です。

1. 血液製剤の供給状況

全国における年度別上位5県の赤血球製剤供給本数(人口1000人当たり)

上位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
1位	北海道(72.1)	北海道(71.2)	北海道(70.2)	北海道(71.4)
2位	高知 (61.1)	大阪 (60.5)	大阪 (60.2)	大阪 (60.7)
3位	大阪 (59.8)	青森 (59.3)	高知 (58.7)	青森 (59.1)
4位	福井 (59.2)	福島 (58.2)	青森 (58.5)	和歌山(58.6)
5位	和歌山(58.3)	高知 (57.5)	和歌山(58.2)	高知 (57.5)
全国平均	50.5	50.5	50.1	50.3

近年、高知県における人口当たりの赤血球製剤の供給量は常に上位となっています。

人口10万人当たりの病床数(一般病院)及び輸血実施施設数

都道府県	人口当たりの病床数	輸血実施医療機関数
秋田	1,500	94
高知	2,473	150
島根	1,574	58

若年層への取り組み(4月～12月)

・内 容 「血液と輸血の話」

・対 象

<小学校> 11校351名【市内9校、市外2校】

<中学校> 9校816名【市内(市立6校、私立1校)、市外2校(村立)】

<高等学校> 2校215名【市内 私立2校】

<専門学校> 1校 89名【高知医療学院】

<大 学> 3校 14名【高知県立大学、高知大学、高知工科大学】

※大学3校は、血液センター開催

<その他> 278名 土佐市民病院

高知県庁新規採用職員研修×3回、

高知県立高知江の口養護学校

計:29施設 1,763名



(高知市立旭中学校)

- ・献血をする人が減っているのは、誰かがやると思っているから。自分から進んでやるのが大切だと思った

(馬路村立魚梁瀬中学校)

- ・献血がすごく大切だと思いました。この献血で助かる患者のため、勇気を出して献血してみたいと思いました。



(高知市立義務教育学校土佐山学舎)

- ・今まで献血という言葉聞いても、あまり想像できなくてよく分からなかったけれど、今日このような授業を受けることで、私たちの見えないところで患者さんが必要としていると気づきました。

出前講座に関する先生からの意見

(高知市立旭中学校)

- ・血液について知らなかった知識があって学ぶ事ができました。図やイラスト、アニメといった視覚的で分かり易かった。

(馬路村立魚梁瀬中学校)

- ・血液についての基本的な事から、献血の大切さなどの深い部分まで分かりやすく丁寧に教えてくださり、中学生にとっていい授業になりました。身近な人の大切な命が守られている事を学んで欲しいと思いました。

(私立土佐中学校)

- ・血液、献血に関する知識はとても大切なものです。義務教育を終えようとしている生徒達にとっては是非知っておいて欲しい事なのですが、3年生では保健の授業がありませんので、中々その機会がありませんでした。丁度今、生物の授業で血液の内容を学んでいるところらしく、医師からの専門的見知に興味を持っていた生徒も見受けられました。

平成31年度 事業計画

平成31年度 輸血用血液製剤供給計画 (本)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
200mL 赤血球	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	480
400mL 赤血球	1,657	1,636	1,636	1,698	1,616	1,719	1,698	1,698	1,822	1,739	1,657	1,884	20,460
血漿	108	115	112	147	115	147	122	135	178	127	125	152	1,583
血小板	475	486	526	474	468	468	509	497	503	450	456	538	5,850

平成31年度 血液製剤別献血計画 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ルーム 200mL	37	37	37	37	37	37	37	37	37	38	38	38	447
バス 400mL	1,161	1,236	1,250	1,310	1,229	1,322	1,305	1,306	1,303	1,226	1,166	1,352	15,166
ルーム 400mL	315	315	315	320	315	330	325	325	340	330	315	345	3,890
血漿	302	303	302	303	303	303	303	303	303	303	302	303	3,633
血小板	345	352	383	348	344	344	371	364	368	330	336	392	4,277

平成31年度 施設別稼働計画

移動採血バス	343 台
献血ルーム	359 日

移動献血バス配車計画





**中四国ブロック血液センターを中心に、医療機関への
安定供給体制を維持して参ります。**

【参 考】

採血種別		鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	計	
全血献血	200mL	63	16	1,520	1,599	518	79	49	49	447	4,340	
	400mL	15,364	13,299	53,158	74,099	40,707	20,366	27,113	37,237	19,056	300,399	
	小計	15,427	13,315	54,678	75,698	41,225	20,445	27,162	37,286	19,503	304,739	
成分献血	血漿	製 品	0	0	2,820	13,020	360	0	720	2,052	0	18,972
		原 料	1,462	3,317	10,455	13,700	2,507	3,173	5,207	5,922	3,633	49,376
		計	1,462	3,317	13,275	26,720	2,867	3,173	5,927	7,974	3,633	68,348
	血小板	非分割	2,002	1,733	5,444	12,830	2,229	1,912	2,143	2,538	2,269	33,100
		分 割	1,771	1,533	4,814	11,343	1,971	1,692	1,894	2,244	2,008	29,270
		計	3,773	3,266	10,258	24,173	4,200	3,604	4,037	4,782	4,277	62,370
	小計		5,235	6,583	23,533	50,893	7,067	6,777	9,964	12,756	7,910	130,718
合 計		20,662	19,898	78,211	126,591	48,292	27,222	37,126	50,042	27,413	435,457	

平成31年度の中四国ブロックにおける献血者確保数は「435,457人」で計画
 前年比（102.8% 前年:423,512人本）
高知県 6.3%の計画数

若年層への取り組み

学校や他施設等での実施 (平成31年度予定)

対 象	第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)	第3四半期 (10～12月)	第4四半期 (1～3分月)	累 計 (実施回数)
	実 施 回 数				
小学校	0	11 (11)	0	0	11 (11)
中学校	2 (2)	1 (1)	6 (6)	0	9 (9)
高等学校	1 (1)	0	1 (1)	0 (2)	2 (4)
専門学生	0	0	1 (1)	0 (2)	1 (3)
大 学	0	0	0	0	0
その他	5 (5)	0	0	0	5 (5)

平成31年度は、第4四半期に高等学校・専門学校での実施を予定

高知センター新社屋について

平成31年1月28日 業務開始

南国市岡豊町小蓮448番地
(高知大学病院北側)



平成31年1月17日 竣工式典



新庁舎



移動献血バス プラットフォーム





エントランス



供給車両車庫

明るいエントランスでは、献血ちゃんがお出迎え。

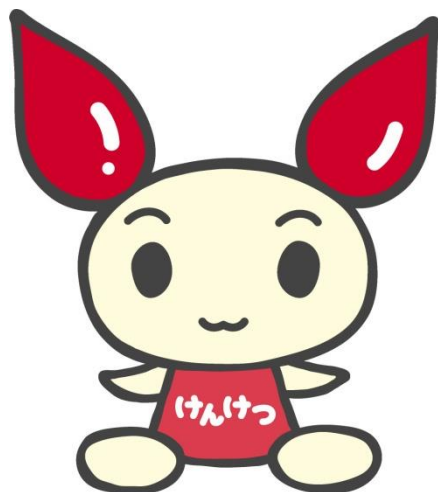
新社屋の供給車両車庫の地下には、災害時の活用が期待できる災害救援槽(大地くん)を埋設し、被災時は大規模仮設トイレとして500人が30日間使用可能な設備を備えています。

また、浄水設備も併せて整備し、災害時の救護対応機能の充実を図っています。



災害救援槽 (大地くん)

ご清聴ありがとうございました



献血キャラクター

けんけつちゃん